

楽2ライブラリ 連携ソフトウェア 手順書

第1章 インストールする

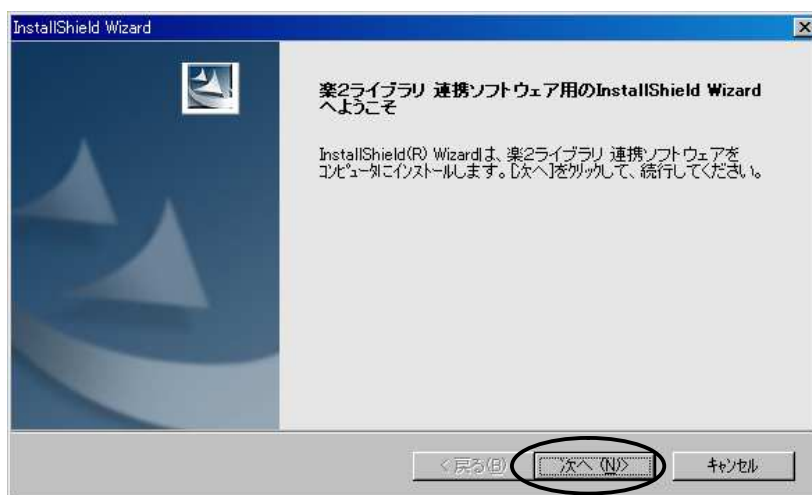
1.1 インストールの前に

- (1) 楽2ライブラリ パーソナル V1.0L40 がインストールされていることを確認してください。インストールされていない場合は、先に楽2ライブラリ パーソナル V1.0L40 をインストールしてください。
- (2) インストールは、管理者権限で行ってください。

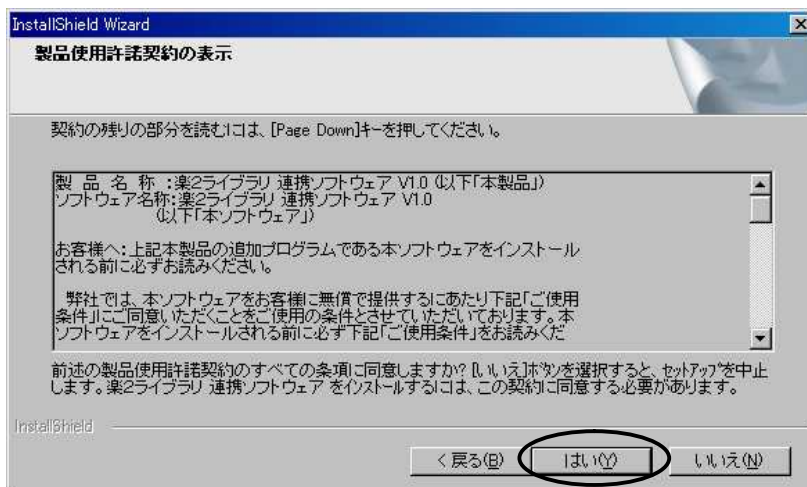
1.2 インストール手順

本ソフトウェアのインストール手順について説明します。

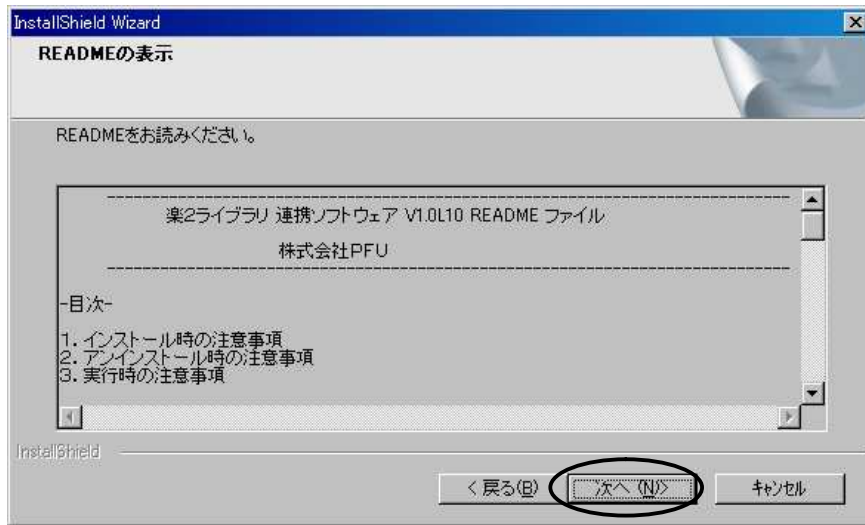
- (1) ダウンロードしてきたファイルを実行します。
- (2) 「次へ(N)>」を選択します。



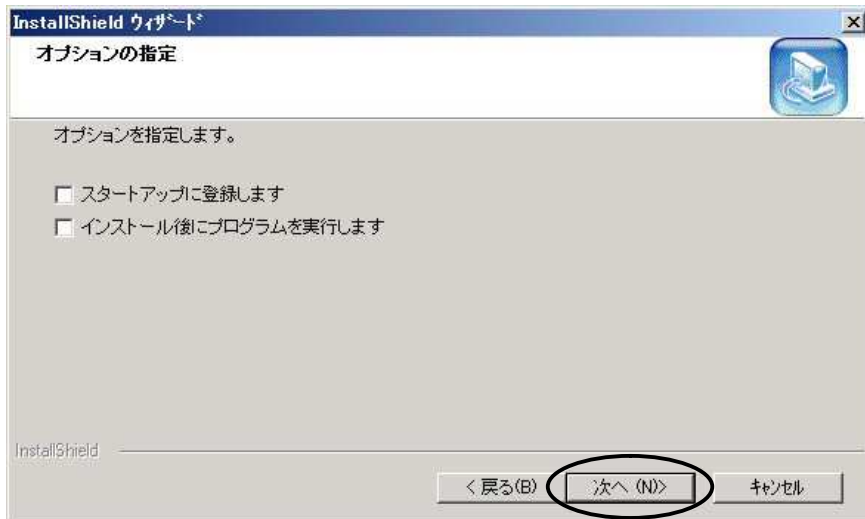
- (3) 製品使用許諾契約に同意して、「はい(Y)」を選択します。



(4) 「次へ(N)>」を選択します。



(5) 必要なオプションを指定し、「次へ(N)>」を選択します。



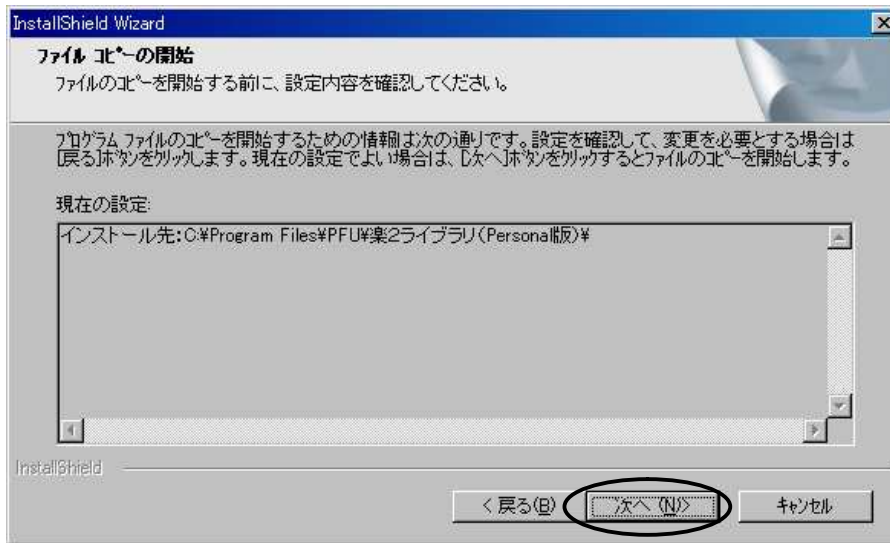
スタートアップに登録します

本ソフトウェアをスタートアップに登録する場合には「スタートアップに登録します」をチェックします。スタートアップに登録すると、次回起動時に本ソフトウェアが自動的に開始されます。

インストール後にプログラムを実行します

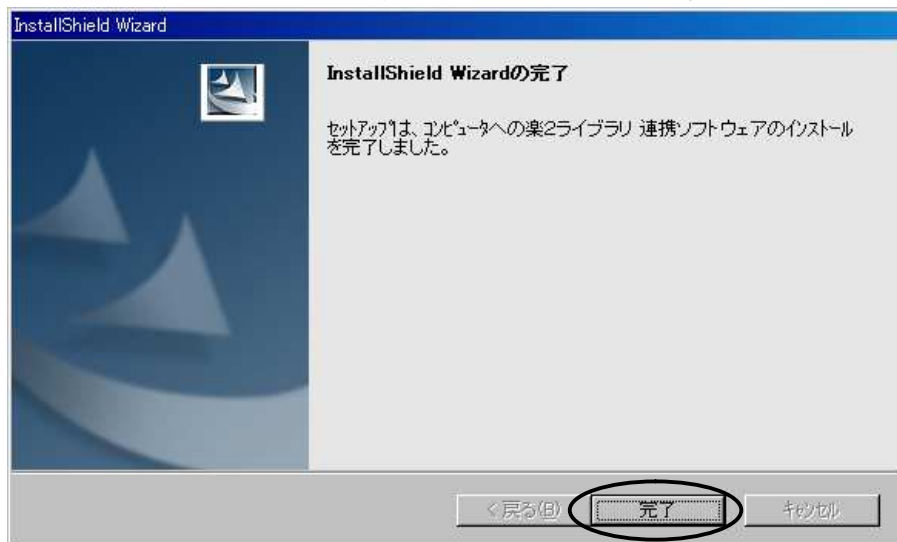
セットアップ完了後に本ソフトウェアを起動する場合には「インストール後にプログラムを実行します」をチェックします。このチェックを有効にした場合、プログラム起動時に設定画面が表示されます。

(6) 設定内容を確認し、「次へ(N)>」を選択します。



インストール先は楽2ライブラリインストールフォルダ（固定）となります。
またスタートメニューの楽2ライブラリ項目に本ソフトウェアのアイコンが追加されます。

(7) ファイルコピーが終了すると、インストール完了です。



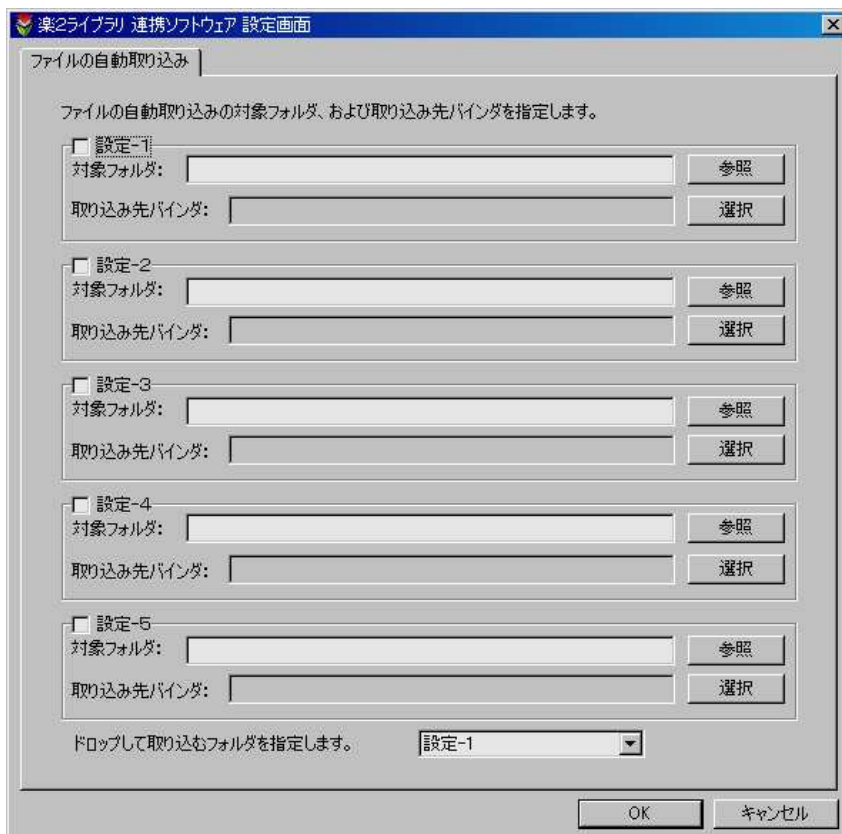
第2章 設定する

インストールが完了したら、設定を行きましょう。

2.1 設定画面を表示

- (1) デスクトップの本ソフトウェアのアイコンをダブルクリックすると、設定画面が表示されます。

タスクトレイアイコンからも起動できます。



2.2 設定チェックボックスを ON

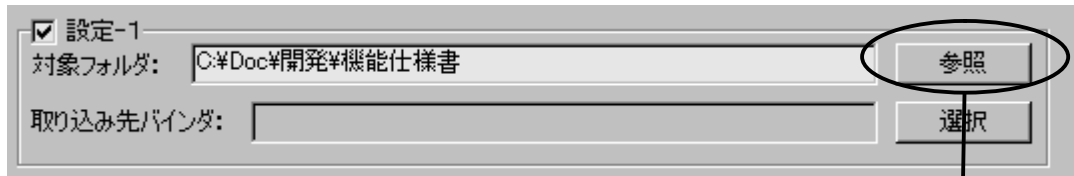
ファイルの自動取り込みを行う場合、チェックボックスを ON にします。初期値は OFF になっていますので、ON にしてください。



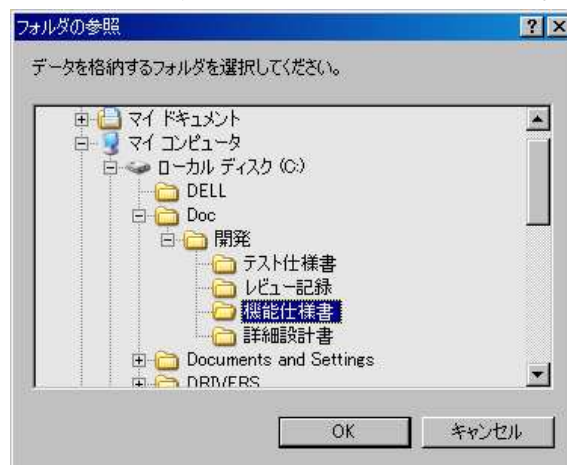
2.3 対象フォルダの設定

取り込みの対象となるフォルダを指定します。

(1) 参照ボタンをクリックします。



(2) フォルダの参照画面から、対象フォルダを指定します。



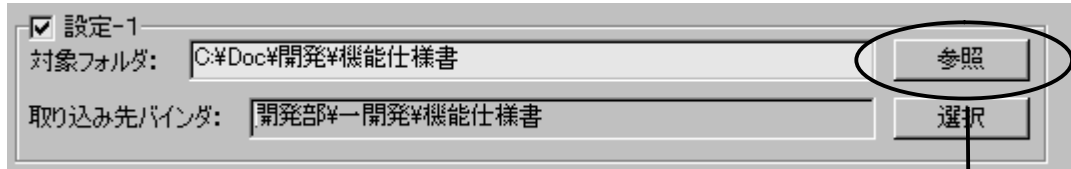
対象フォルダに指定したフォルダ内を監視し、新規に作成、またはコピーされたファイルがある場合に、取り込み処理を行います。取り込んだファイルは、2.5 ドロップして取り込むフォルダの指定 で設定する取り込み先バインダへ登録されます。

予め作業フォルダを作成し、対象フォルダに指定することをお勧めします。

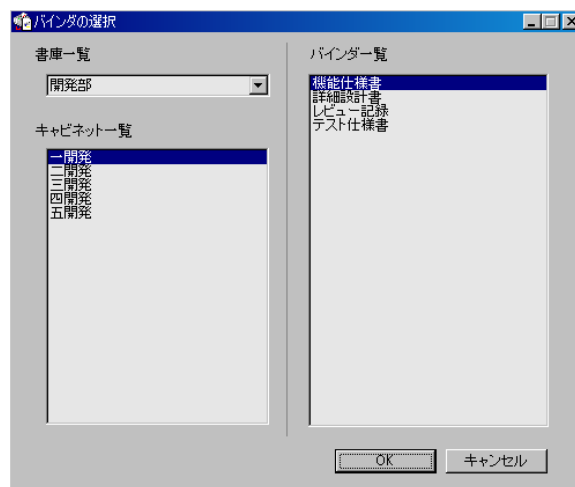
2.4 取り込み先バイндаの設定

対象フォルダ内のファイルを、どのバイндаへ登録するかを指定します。

(1) 選択ボタンをクリックします。



(2) バイндаの選択画面から、取り込み先となるバイндаを選択します。



2.5 ドロップして取り込むフォルダの指定

デスクトップの本ソフトウェアアイコン上にドロップした時、どの設定で取り込みを行うのかを指定します。コンボボックスより、[設定 - 1]から[設定 - 5]までの設定を選択してください。



2.6 設定に関する注意事項

- (1) 対象フォルダには、Scanbox Pro Manager (ペーパービュー) のリンク接続先フォルダを指定しないでください。

第3章 Scanbox のデータを、楽2ライブラリへ取り込む

設定が終わったら、実際に使ってみましょう。

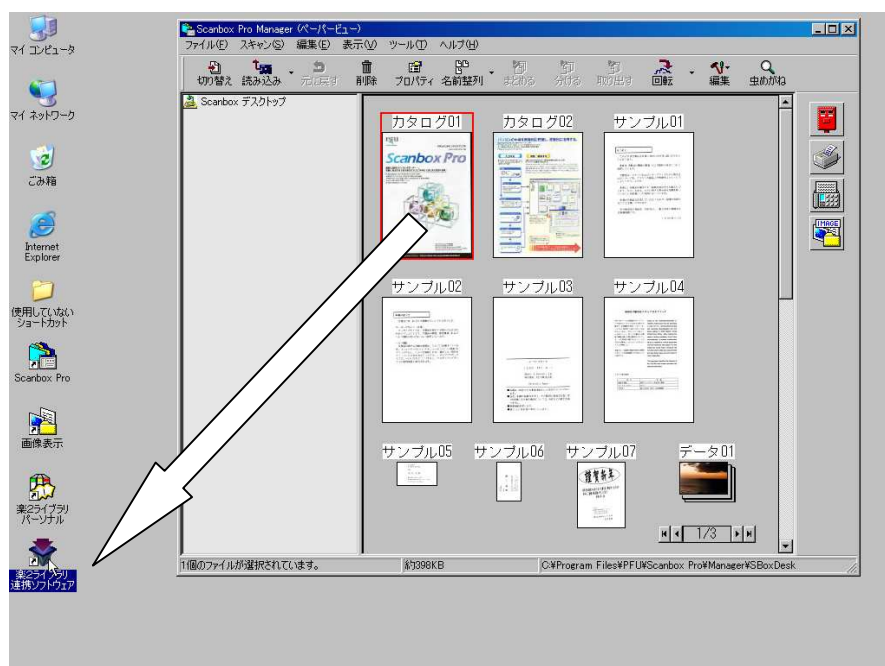
3.1 デスクトップアイコンにドロップ

Scanbox のデータをデスクトップの本ソフトウェアアイコン上にドロップすると、データが対象フォルダにコピーされ、取り込み先のバイндаへ登録されます。

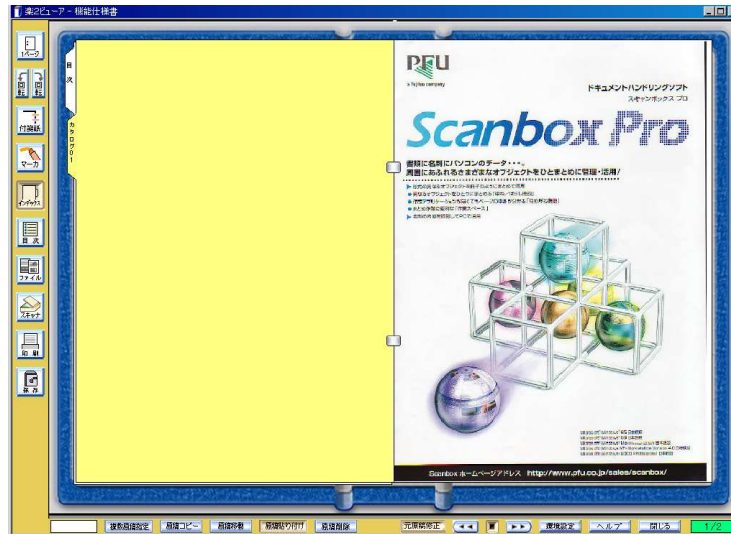
ドロップ時の対象フォルダ、および取り込み先バイндаは、2.5 ドロップして取り込むフォルダの指定 で設定します。

- (1) Scanbox のペーパービューを起動します。
- (2) 楽2ライブラリへ登録したいファイルを選択し、デスクトップの本ソフトウェアアイコン上にドロップします。

注) (2)の登録操作は、楽2ビューア画面を閉じた状態で行ってください。

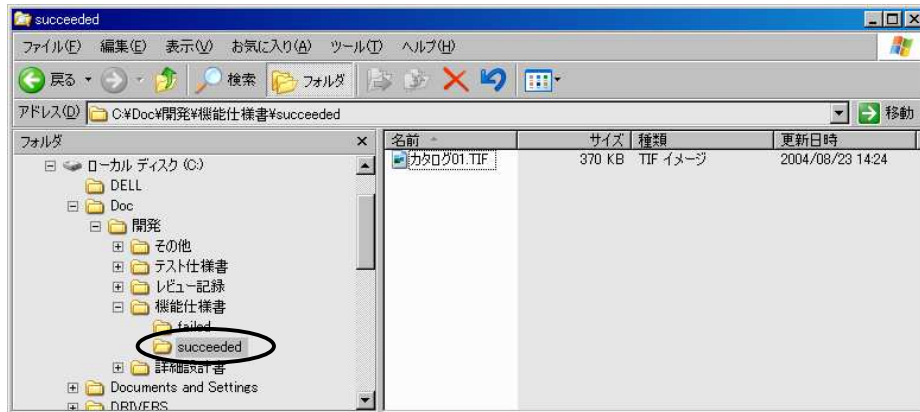


(3) 楽2ライブラリを起動し、正しく登録されていることを確認しましょう。

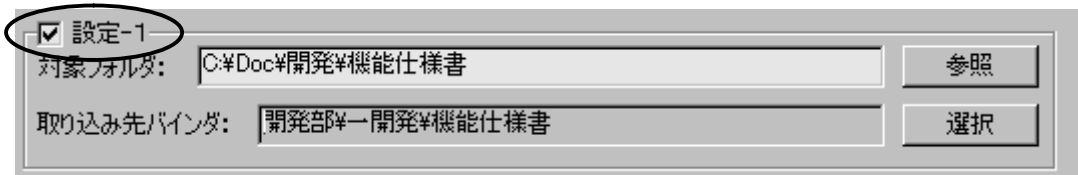


登録されていない場合

ドロップしたファイルは、対象フォルダにコピーされ、自動的に取り込み先バイндаへ登録されます。登録が完了すると、[succeeded]フォルダへ移動されますが、登録に失敗した場合は[failed]フォルダへ移動されます。
[succeeded]フォルダに移動されているか確認してください。



対象フォルダにコピーされたままで、ファイルが移動されていない場合、設定画面を開き、チェックボックスがONになっているか確認してください。



- (4) 別のバインダに登録したい場合は、設定画面を開き、ドロップして取り込むフォルダで、他の設定を指定します。

楽2ライブラリ 連携ソフトウェア 設定画面

ファイルの自動取り込み

ファイルの自動取り込みの対象フォルダ、および取り込み先バインダを指定します。

設定-1
対象フォルダ: C:\Doc\開発\機能仕様書 参照
取り込み先バインダ: 開発部\開発\機能仕様書 選択

設定-2
対象フォルダ: C:\Doc\開発\詳細設計書 参照
取り込み先バインダ: 開発部\開発\詳細設計書 選択

設定-3
対象フォルダ: C:\Doc\開発\レビュー記録 参照
取り込み先バインダ: 開発部\開発\レビュー記録 選択

設定-4
対象フォルダ: 参照
取り込み先バインダ: 選択

設定-5
対象フォルダ: 参照
取り込み先バインダ: 選択

ドロップして取り込むフォルダを指定します。 設定-2

OK キャンセル

3.2 注意事項

- (1) Scanbox Pro Manager (ペーパービュー) のファイルをドラッグ&ドロップする以外の操作では正しく登録できない場合があります。登録できないファイルについては、前述の[failed]フォルダに移動されます。
- (2) Scanbox Pro Manager (ペーパービュー) から、複数のファイルを一度にドラッグ&ドロップする場合、楽2ライブラリに登録されるファイル順は、任意となります。
- (3) 登録がすべて完了した場合、[succeeded]フォルダや[failed]フォルダ内に退避されたファイルを削除することをお奨めします。
- (4) Scanbox の編集情報は、楽2ライブラリに登録できませんので、予めご了承ください。なお、編集情報が付加されたデータは、編集情報が省かれた状態で登録されます。
- (5) 解像度が大きいカラーデータ(400dpi 以上)を登録する際、登録完了するまでにかなりの時間を要する場合があります。特に横長データを含む場合。